

漢語老師

入門レベル【出発！中国語】学習到達目標

基本的な発音、数字・数量表現、旅行、出張で必ず必要となる挨拶、タクシーなどの交通機関で行き先を告げる、レストランで注文するなどの基礎文法で話せる会話力を習得することができます。資格試験では、中国語検定4級、HSK2級への合格を目指すレベル。

1課

四声、軽声、変調と半3声、単母音、そり舌母音

この課では四声、軽声、変調と半3声、単母音、そり舌母音など、全ての発音の大切な要素を学習します。これらを練習することで、中国語の基礎となる発音が身につきます。

2課

子音①

この課では唇や舌の先などを使って発音する「子音」を学習します。子音は単独では発音しにくいので、「母音」をつけて練習していきます。ここでは、中国語の子音のうち、唇音、舌尖音、舌根音を習得します。

3課

子音②

この課では舌面音、舌歯音、そり舌音を習得します。これらの子音は母音“i”と組み合わせる場合、“i”の発音がそれぞれ異なります。音の違いを意識しながら学習しましょう。

4課

複母音

この課では2つ以上の母音が組み合わせられた複母音を学習します。複母音を発音するときは、滑らかに発音するのがコツです。また、口の形の变化にも気をつけながら発音練習をしましょう。

5課

鼻母音①

この課では日本語の「ン」にあたる鼻母音を学習します。鼻母音は単母音や複母音の後に“n”または“ng”がついている音で、この課では“n”を伴う鼻母音を学習します。舌の先を歯茎に押し付けたまま発音するのがコツです。口の形や舌の位置に注意しながら練習しましょう。

6課

鼻母音②

この課では“ng”を伴う鼻母音を学習します。“n”を伴う鼻母音と“ng”を伴う鼻母音の違いは、口の形と舌の位置にあります。“ng”は口を大きく開け、舌の付け根を持ち上げ、舌の先をどこにもつけずに発音します。口の形や舌の位置に注意しながら練習しましょう。

7課

“是”を使った文

この課では動詞“是（～である）”を使った文型を学習します。“是”を用いることで、自己紹介のほか、場所や所有者を説明することができるようになります。

8課

形容詞を使った文

この課では形容詞を使った文型を学習します。形容詞を用いて食べ物や飲み物の味、品物の外観や値段、さらには仕事や学習などについて、自分の感想を述べたり、相手に感想を尋ねたりすることができます。いろいろな形容詞を使って、自分の感想が伝えられるようになります。

9課

動作を表す動詞を使った文

この課では「食べる」「飲む」「行く」「来る」など、動作を表す動詞を使った文型を学習します。これらの動詞を用いることで、自分の行動を伝えたり、相手の行動を確認したり、さらに相手を誘ったりすることができるようになります。

10課

反復疑問文

この課では「行きますか、行きませんか？」というように、動詞や形容詞の肯定形と否定形を並べて疑問を表す反復疑問文を学習します。日本語では反復疑問文をあまり使いませんが、中国語では念を押したり明確な回答を求めたりする場合によく使います。

11課

二重目的語

この課では「私に領収書をください」「友達にプレゼントを贈りました」というような「AにBを～する」という二重目的語を伴う文型を学習します。この文型を学習することで、相手に何かを依頼したり、連絡先などを尋ねたりすることができるようになります。

12課

時間量や回数を表す表現と動作の経験態

この課では「どれくらいの時間～した」「何回～した」という動作や行為の時間量、回数、頻度を表す文型と、「～したことがある」という「動作の経験」を表す文型を学習します。これらの文型を学習することで、これまでの経験について説明することができるようになります。

13課

動詞“有”を使った文

この課では主に「A（場所）にBがある」「A（場所）にBがいる」「AはBを持っている」「ある」「いる」「持っている」を表す動詞“有”を学習します。この文型を学習することで、家族の紹介や施設の説明などができるようになります。

14課

動詞“在”を使った文

この課では主に「AはB（場所）にある」「AはB（場所）にいる」「ある」「いる」を表す動詞“在”を学習します。この文型の学習によって、物や人の所在を確認したり、道を尋ねたりすることができるようになります。

15課

助動詞“想”を使った文と選択疑問文

この課では主に「～したい」という意味を表す“想”を学習します。“想”を用いることで、自分の願望を述べたり、相手の願望を尋ねたりすることができるようになります。

16課

助動詞“要”を使った文

この課では主に「～する必要がある」「～しなければならない」という意味を表す“要”を学習します。“要”を用いることで、必要や義務があることを述べたり、相手にアドバイスをしたりすることができるようになります。